

優秀板金製品技能^{フェア}受賞作品選出

大臣賞に佐藤医科器械製作所、アイキ

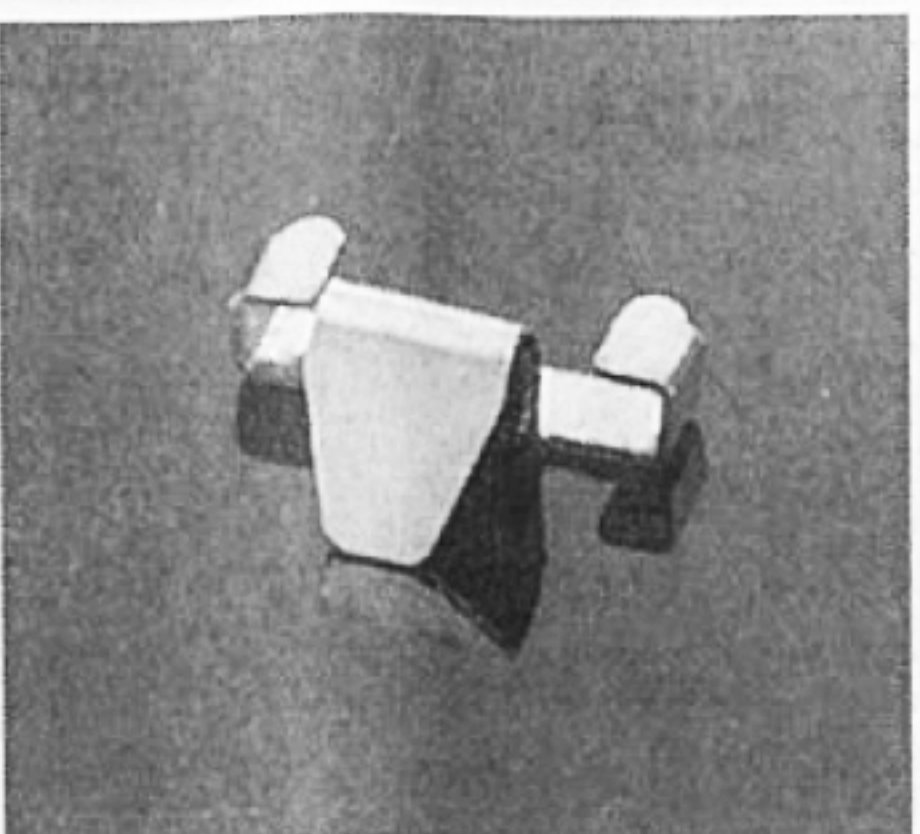
アマダスクール（福井幸弘理事長）はこのほど、「第36回優秀板金製品技能フェア」において、優れた技能・技術で作られた板金作品を選出。厚生労働大臣賞は佐藤医科器械製作所（滋賀県）の「DNA融合」、経済産業大臣賞はアイキ（大阪府）の「ナビ、リレー」がそれぞれ受賞した。厚生労働大臣賞の「DNA融合」は「最高度の熟練技能・手法を用い、品質・精度の極めて高い作品」、経済産業大臣賞の「ナビ、リレー」は

「最高度の加工技術・手段の開拓など、その成果が板金業界に広く貢献すると思われる作品」の選考基準をクリアするなど高い評価を得た。

優秀作品73点が選ばれ、3月9日に神奈川県伊勢原市の「AMADA FORUM」で各賞の表彰式が執り行われた。

選考に当たってアマダスクールでは「今回は国内外から多数の出品と投票をいただくなど、広く注目を集めた。全体では高精度な微細加工を用いた作品や、高難度なコンセプトやアイデアを実現した作品が選出された」と総評している。

選考は日本塑性加工学会会員、シートメタル工業会役員や各審査委員のほか、選考期間中にアマダの優秀板金製品技能フェア会場見学者やオンライン投票で行われた。その結果、応募総数281点（国内184点、海外97点）の中から技能賞以上の



⑤厚生労働大臣賞受賞の「DNA融合」（佐藤医科器械製作所）、⑥経済産業大臣賞の「ナビ、リレー」（アイキ）